



ご紹介

マスター・グランド・トラディション・ トゥールビヨン・ジャンピングデイト

グランド・トラディションラインの再解釈：
新たな美学を生み出す再構築されたムーブメント

概要：

- **高精度キャリバー**：新しいムーブメント構造により、2009年に現代初のクロノメーターコンクールで優勝したキャリバー978に新たな美学を創出
- **オープンワークのダイヤル**：トゥールビヨンと象徴的な「ジャンピング」デイト機構を際立たせる新デザイン
- **洗練されたケース**：60個の部品で構成される42mmケースにグランド・トラディションのデザインコードを凝縮
- **丸みを帯びた上品なブリッジ**：18K ホワイトゴールド製ブリッジが引き立てる新しいトゥールビヨンと24時間ディスクの美学

ジャガー・ルクルトは、新たなマスター・グランド・トラディション・トゥールビヨン・ジャンピングデイトにより、代表的なトゥールビヨンキャリバーのひとつを再解釈しました。正確で信頼性の高いキャリバー978は、20年前に発表され、その3年後の2009年には現代初のクロノメーターコンクールで優勝したことにより、マニュファクチュールが達成した驚くべき偉業を称えています。再構築されたムーブメント構造を持つ最新のキャリバー978は、新たな42mmの18Kピンクゴールド製ケースに収められ、このキャリバーの輝かしい歴史への活気に満ちた優雅なオマージュとして、ダイヤルデザインが刷新され、より洗練された高級時計づくりの仕上げが施されています。この最新モデルは100本の限定生産です。

精度を追求する卓越したトゥールビヨンキャリバー

重力が调速機構に及ぼす影響を補正し、時計の精度を高めるために発明されたトゥールビヨンは、1946年に初めてトゥールビヨンムーブメントを開発したジャガー・ルクルトにとって、長年にわたり献身的に研究を続けてきた分野です。それ以来、マニュファクチュールは调速機構へのアプローチを絶えず洗練させ、クロノメーター性能の向上を目的とした数々の技術革新を開発してきました。

クロノメーターの特徴：キャリバー978は、こうした進歩の代表例です。2009年には、19世紀の天文台のコンクールに着想を得て、スイスのル・ロックルにある国際時計博物館の創立50周年を記念して開催された、45日間の過酷な試験が行われる近代初のクロノメーターコンクールで優勝を



果たしました。この試験は、2つの独立した公的機関によって実施され、時計のムーブメントの精度だけでなく、特に耐衝撃性や耐磁性のテストを含む着用時の信頼性についても厳格に検証されました。このコンクールにより、トゥールビヨン脱進機の本来の目的の正当性と、マニファクチュールの職人技による卓越した品質と精度が明確に実証されました。

超軽量调速機構：マスター・グランド・トラディション・トゥールビヨン・ジャンピングデイトのトゥールビヨンは64個の部品で構成され、重さは0.5g未満です。

直感的なジャンピングデイト機構：初めて発表された際、キャリバー978には60秒で一周するトゥールビヨンに加え、遊び心がありながらも精巧に設計された「ジャンピング」デイト機構が導入され、この機構は新作の時計にも引き続き組み込まれています。日付表示はダイヤル外周に配され、トゥールビヨン開口部の両側に位置する15と16は、ほぼ90度の角度を隔てて配置されています。毎月15日の深夜0時を起点に、日付針が16日へとなめらかに移動し、トゥールビヨンの視認性を確保します。

独創的な24時間ディスク：マスター・グランド・トラディション・トゥールビヨン・ジャンピングデイトは、メインの時針・分針とは独立して調整可能な24時間ディスクを備えています。このディスクはメインの時刻表示と同期させれば昼と夜（午前/午後）を表示しますが、第2時間帯の表示としても精巧に機能します。

高級時計づくりにおけるムーブメントの仕上げ

革新を絶えず発明し、新たに考案し、改良し続けているジャガー・ルクルトにとって、キャリバー978はもはや厳密には同じムーブメントではありません。305個の部品で再構築され、ダイヤルの開口部からは興味深い要素を眺めることができます。改良された構造は、より洗練された仕上げによって引き立てられています。

この複雑な部品の仕上げには、マニファクチュール内の8つの異なる工房の専門技術が結集され、キャリバーにはペルラージュ、面取り加工、手作業での面取り加工、リニアブラッシュ仕上げ、サンレイブラッシュ仕上げ、コート・ド・ジュネーブ、サンドブラスト、ダイヤモンド研磨など、10種類の装飾が施されています。30個を超える部品は手作業で装飾され、61の角が手作業で面取り加工されています。

トゥールビヨンと24時間ディスクを架ける2つの18Kホワイトゴールド製上部ブリッジは、高級時計づくりのベルサーージュ（丸み付け）と呼ばれる技法により、完璧に丸みを帯びた半月形状へと精巧に研磨されています。この工程では、ブラッシュ仕上げ用のやすりを揺らすように動かす正確で熟練した操作が不可欠です。透明なサファイアケースバック越しに見るブリッジは、ジャガー・ルクルトを象徴しコート・ソレイユ装飾として知られる、サンレイスタイルのストライプで装飾されています。放射状のストライプはベースプレートの形状に見事に調和し、スクリュー式テンプと装飾が施された下部ブリッジを備えたクラシックなトゥールビヨンを引き立てています。フルサイズの巻き上げローターのデザインは、オリジナルのキャリバー978から継承されています。精巧に仕上げられた一体成



型の 22K ピンクゴールド製ローターには大きな切り欠きが施され、トゥールビヨンの視認性を確保しています。

明瞭な機構：機能的な表示を追求した新たなデザイン

キャリバー978 を搭載した新しいマスター・グランド・トラディションでは、今までにないダイヤルデザインを採用しています。キャリバーの主な要素であり、ホワイトゴールド製ブリッジに支えられたトゥールビヨンと 24 時間ディスクをはじめ、ジャンピングデイト機構を露わにするオープンワーク構造です。トゥールビヨン用の大きな開口部に加え、再設計されたムーブメント構造により、9 時位置に 2 つ目の切り欠きを追加できるようになりました。この開口部からはカレンダーを駆動させる機構が眺められ、日付針のすばやい移動を促すその機能を観察することができます。別の開口部は、ダイヤルの視覚的バランスを保ちながら、機構を覗き込める 2 時位置に設けられ、そこからは車軸を支える構造用スクリューが見えます。

ダイヤルは細部まで精巧に装飾されています。18K ピンクゴールド製のダイヤルにはバーリーコーン模様が施され、ディープブルーの半透明エナメル層の下に質感と視覚的な奥行きを生み出し、18K ピンクゴールド製のアプライドアワーマーカーとの贅沢なコントラストを描き出しています。長いポイント針の先端に施された赤の JL アンカーが日付を示し、赤い矢印が 24 時間サブダイヤル上で時刻を示します。

ジャガー・ルクルトはグランド・トラディションのデザインコードを踏襲した、洗練された新たなピンクゴールド製ケースにキャリバー978 を組み込みました。60 個の部品に施された複数のポリッシュ仕上げ、ブラッシュ仕上げ、マイクロブラスト仕上げが、魅惑的な光の戯れを生み出しています。エレガントなアンサンブルは、小さな鱗模様入りのアリゲーターのライニングが施されたクラシックなブラックアリゲーターストラップと、18K ピンクゴールド製フォールディングバックルによって引き立てられています。

ジャガー・ルクルトは、マスター・グランド・トラディション・トゥールビヨン・ジャンピングデイトにおいて、時計の歴史に名を刻む同名ムーブメントの地位を称え、確かな精度と洗練された現代的な美学を融合させています。

技術仕様

マスター・グランド・トラディション・トゥールビヨン・ジャンピングデイト

ケース：18K ピンクゴールド (750/1000)

サイズ：42×12.5mm

キャリバー：ジャガー・ルクルト製自動巻キャリバー 978

機能：時・分・秒 (トゥールビヨンサブダイヤル)、ジャンピングデイト、24 時間表示の第 2 時間帯、1 分間トゥールビヨン

パワーリザーブ：45 時間



表ダイヤル：ブルーエナメル、バーリーコーン模様

裏ダイヤル：透明

防水性：5 気圧

ストラップ：ブラックアリゲーターストラップ、小さな鱗模様入りのライニング、18K ピンクゴールド製フォールディングバックル

リファレンス：Q4202480

100 本限定モデル

「発明の溪谷」について

ジャガー・ルクルトの原点であるジュウ溪谷。今日までその本拠地であり続けるこの地を称える「発明の溪谷」は、600 年前にヨーロッパ各地からの難民たちが安息の地を見出した、人里離れた谷へのオマージュです。過酷な環境と厳しい冬の寒さのなか、初期の住民たちには、生き延びるために立ち直る力、忍耐、そして創意工夫を育むことが求められました。その 10 世代後となる 19 世紀初頭、アントワーヌ・ルクルトは、独学で時計作りを学び、時計の部品の測定と切削が前例のない精度で行える機械の発明に着手し、現代の時計製造業の礎を築きました。1833 年にルクルト最初の時計づくり工房が創業して以来、この創意工夫の精神と精度への追求は、ジャガー・ルクルトを決定づけるものであり続けています。一連の発明と技術的進歩により、多くの主要メーカーが自社時計用に求めるキャリバーが誕生しました。これによりジャガー・ルクルトは「ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™」として認められるようになりました。これまでに 430 件以上の特許を取得した実績が示すように、継続的な発明は、グランドメゾンの精度への追求を今日に至るまで育み続け、さらに未来へと導いています。

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ溪谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカー™ の中のウォッチメーカーとして知られるマニュファクチュールは、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニュファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。